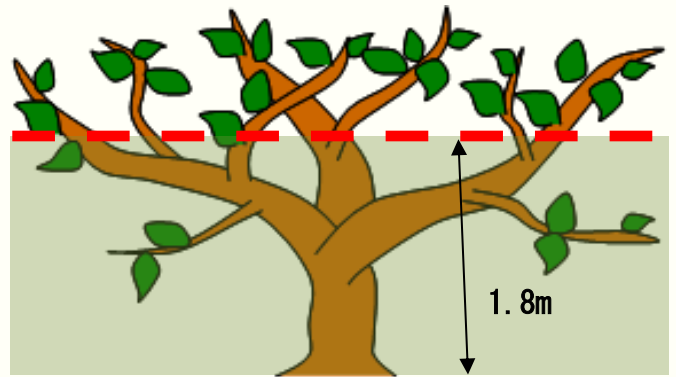


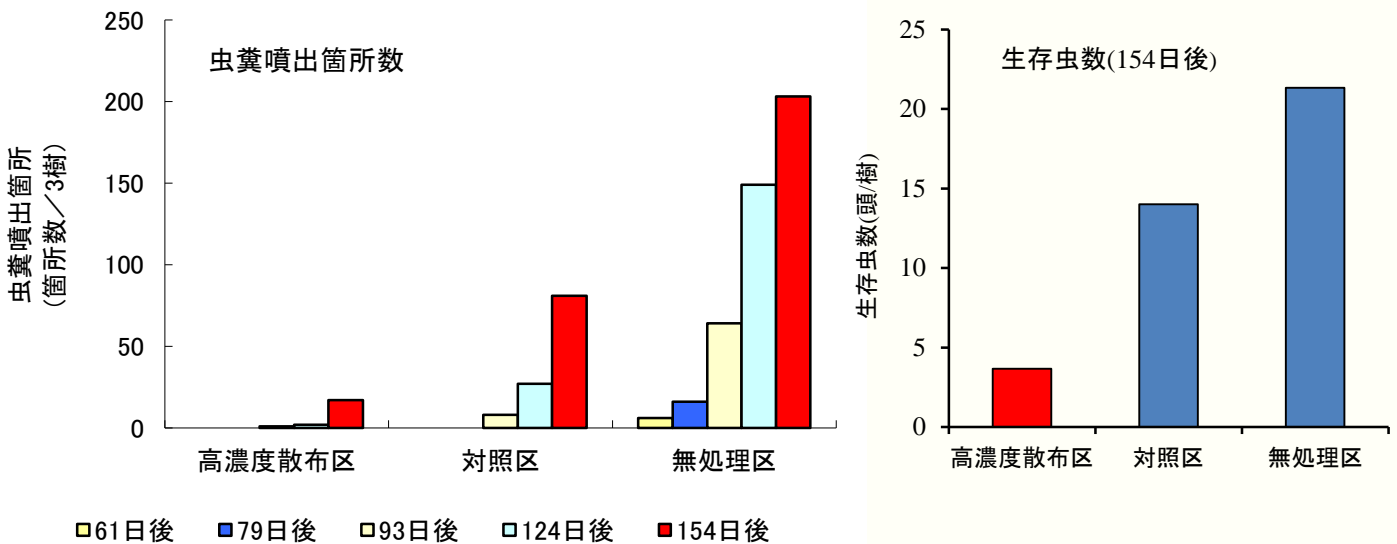
カキの樹幹害虫を効果的に防除できる 高濃度少量散布法を開発しました

近年、カキの樹幹害虫であるヒメコスカシバとフタモンマダラメイガによる被害が深刻化しています。これらの害虫は樹皮の下に潜り込んでいるため、防除が困難でした。

そこで、本虫の被害を1回の散布で長期間抑制できる、フルベンジアミド水和剤（商品名：フェニックスフロアブル）の「高濃度少量散布法」を開発しました。



電動噴霧器を用いた少量散布風景 (左) と散布範囲 (右)



虫糞噴出箇所数の推移 (左) と生存虫数の比較 (右)

高濃度散布区にはフルベンジアミド水和剤200倍を4月28日に樹当たり2ℓ散布し、対照区にはMEP乳剤1.5倍液を散布した。生存虫数は、ヒメコスカシバとフタモンマダラメイガの合計を示す。

(研究成果)

- ・4月下旬～5月上旬に、フルベンジアミド水和剤200倍液を、地上1.8m以下の幹や枝にムラなく丁寧に樹当たり2ℓ散布することで、樹幹害虫の新たな食入を100日以上抑制できます。
- ・電動噴霧器などの散布圧力の低い散布機を用いることで、農薬の目的外飛散(ドリフト)を大幅に抑制できます。